

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和5年度

Les Les

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	評価や改善すべき点を踏まえた 改善の状況や今後の計画
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		広いとは言えないが、活動スペースを分けている。	
	2 職員の配置数は適切である	○		適切な人員配置を心掛けている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にされている	○		構造化している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃・消毒等機を配っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加している	○		ミーティングをこまめに行うよう心掛けている。	
	6 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者向け自己評価を実施している。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の取組及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		評価表をホームページにて公表している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			第三者評価の環境を検討したい。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		各研修を行っている。	
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を具体的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		子どもと保護者のニーズに沿った内容を心がけている。	
	11 子ども達の行動の状況を把握するために、構造化されたアセスメントツールを使用している	○		作成されたアセスメントツールを使用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家庭支援」「地域支援」で必ず支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		適切な設定を心がけている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画を日々振り返りができるようにしている。	
適切な支援の提供	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		都度会議を行っている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			もっと活動内容の幅が広がるよう工夫したい。
	16 子ども達の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○		自立活動を集団活動を取り入れている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼時確認している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼時確認している。	
	19 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証に活用している	○		記録を心がけている。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		適切なモニタリングを行っている。	
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	○		常勤が参加している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			もっと深められるようにしていきたい。
	関係機関や保護者との連携	23 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			
24 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡・連携を確保している					
25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有や相互理解を図っている		○			行っているが、今以上に努力したい。
26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有や相互理解を図っている		○			一部できていないところもあるので改善したい。
27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○			更に連携できるようにしたい。
28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			実現できていないので努力したい。
29 「自立支援」協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○			参加している。
30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		○			心がけている。
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家庭支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○			努力したい。
保護者への説明責任等		32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		初回契約時、時間をかけて説明している。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			適切に行っている。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			適切に行っている。
	35 父母の会の活動を実施したり、保護者会等を組織する等により、保護者同士の連携を支援している	○			努力したい。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			適切に対応している。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			努力したい。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○			注意している。
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			配慮している。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			努力したい。
	非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを策定し、周知を呼びかけている。
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		月に一度避難訓練を行っている。	
43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認している		○			初回アセスメント時確認している。
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指導に基づき対応がされている		○			指示があった場合は配慮している。
45 ヒヤリット事例集を作成して事業所内で共有している		○			作成している。
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○			適切に研修を行っている。
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前十分に説明し、同意を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○			適切に行っている。